

症例の概要

No.	患者		1 日投与量 投与期間	副作用						
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置						
1	男 80代	レストレス レッグス症 候群 (慢性腎不全)	2.25mg 28日間 ↓ 4.5mg 22日間	CPK上昇・ミオグロビン上昇 投与開始日 むずむずする感覚あり、本剤2.25mg/日 投与開始 投与12日目 CPK439U/Lに上昇。 投与29日目 本剤4.5mg /日へ増量。 投与47日目 CPK4.832U/L (最高値) に上昇。 日付不明 採血結果を確認し、臨床症状を確認するとだるさ、倦怠感あり。 投与50日目 本剤の投与中止。 (投与中止日) 中止1日後 ミオグロビン4,131ng/mLに上昇。 日付不明 CPK、ミオグロビンの上昇を認めたが倦怠感・脱力のみで筋肉痛・筋力低下は認められず、横紋筋融解症の症状はなし。 中止88日後 CPK180U/L (正常値) に回復。 日付不明 ミオグロビン上昇の転帰は回復。						
臨床検査値										
			投与 45日前	投与 17日前	投与 12日目	投与 47日目	中止 1日後	中止 8日後	中止 25日後	中止 88日後
CPK (U/L)			143	154	439	4,832	－	539	459	180
ミオグロビン (ng/mL)			－	－	－	－	4,131	－	－	－
併用薬：ベニジピン塩酸塩、ドキサゾシンメシル酸塩、フロセミド、エピナスチン塩酸塩、アムロジピンベシル酸塩、クエン酸第二鉄水和物、メトクロプラミド、ケトプロフェン、オルメサルタン メドキシミル、エソメプラゾールマグネシウム水和物、ナルフラフィン塩酸塩、トリアゾラム										

症例の概要 2

No.	患者		1 日投与量 投与期間	副作用						
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置						
2	男 80代	パーキンソン病 (高血圧症、糖尿病、高脂血症、特発性正常圧水頭症)	4.5mg 4 日間	横紋筋融解症疑い 投与開始日 本剤4.5mg/日 投与開始 投与 4 日目 リハビリ中、体が右に傾き、歩行困難が出現。 (投与中止日) その後、姿勢維持困難や筋肉痛あり。 筋力低下も認められた。CT画像では異常なし。 血液検査にてCPK2537IU/Lに上昇。横紋筋融解症疑いが発現。 本剤投与中止。 輸液用電解質液（維持液）、フロセミド投与開始。 中止10日後 血液検査にてCPK135IU/Lまで低下したため輸液中止。 横紋筋融解症疑いの転帰は回復。						
臨床検査値										
			投与 21日前	投与 11日前	投与 4日目 (投与中止日)	中止 1 日後		中止 2 日後	中止 4 日後	中止 10日後
						1 回目	2 回目			
CPK (IU/L)			140.0	140.0	2,357.0	2,357.0	2,675.0	2,846.0	1,812.0	135.0
AST (IU/L)			31	－	95	106		127	97	35
ALT (IU/L)			34	－	25	47		43	31	45
BUN (mg/dL)			19.2	－	25.3	22.6		23.1	17.8	17.5
クレアチニン (ng/dL)			1.1	－	1.1	1.1		1.0	1.0	1.0
併用薬：フルスルチアミン・B2・B6・B12、ゾニサミド、アロプリノール、シルニジピン、チクロピジン塩酸塩、プラバスタチンナトリウム、トラセミド、レボドパ・カルビドパ水和物、ボグリボース、シロドシン、イミダフェナシン、硝酸イソソルビド、ケトプロフェン										